

# ZEPHYROS

ゼフェロス No.31

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



コレッジョ 《幼児キリストを礼拝する聖母》82.3×68.4cm  
フイレンツェ、ウフィツツイ美術館

## パルマ—イタリア美術、もう一つの都

会期: 2007年5月29日(火)～8月26日(日)

主催: 国立西洋美術館／読売新聞社／パルマ・ピアチェンツァ歴史美術民俗文化財監督局

本展は当初、当館が所蔵するパルマと縁のある絵画2点の調査研究の過程で、小企画展として準備されたものでした。ひとつは旧松方コレクションに由来するエミリア派《ウェヌスとアモル》(現在修復中)で、最近の研究でパルマの画家アレックスサンドロ・ベドリに帰属された作品です。もうひとつは1998年に当館が購入したゲルチーノ《ゴリアテの首をもつダヴィデ》で、18世紀までパルマのファルネーゼ家のコレクションにあったものです。これら2点の調査を進めるなかで、西洋美術館とパルマ・ピアチェンツァ美術監督局のスタッフの夢が膨らみ、そしてついに、読売新聞社の協力を得て、世界で初めてパルマ派の絵画を紹介する大きな展覧会として実を結びました。

# パルマ - イタリア美術、もう一つの都

そもそもパルマの美術は歴史的にきわめて重要な役割を果たしていたにもかかわらず、コレッジョやバルミジャーノらふたりの巨匠を除いては、これまであまり詳細な研究が進められてきませんでした。しかし20世紀末になって、ようやく古文書の再検討やそれまで注目されなかったパルマの地元の画家たちに関する地道な研究が実を結び、次第にその全貌が明らかとなってきたのでした。そして16世紀パルマ派の特徴として、コレッジョの様式を優美の規範として礼賛する古典主義的な様式と、それをさらに昇華させ新たな規範を編み出したバルミジャーノのマニエリスムが並存する特殊な芸術環境の構造が明らかになってきました。また、パルマ・ピアチェンツァ公国の君主ファルネーゼ家が一方ではローマ教皇庁内でも大きな権力を握り、ローマでの繁栄も誇っていた16世紀末には、ローマ、パルマ両地で巨大な花を咲かせることとなりました。ポローニャの出身ながらコレッジョ以来の伝統を研究して成功を取めたカラッチ一族、パルマの奇才ステドーニ、ローマやナポリでも活躍したランフランコ、さらにはバルミジャーノ的優雅さとバロック的明暗表現が融合したバダロッキオら、初期バロックを牽引した画家たちが続々と登場します。

美術史的な様式区分として便宜的に用いられるルネサンス、マニエリスム、バロックといった用語はイタリア美術史の様式的特徴を説明するには非常に便利です。しかし歴史そのものが実際に分断されたわけではありません。ラファエッロやミケランジェロが登場した後、自然発生的にマニエリスムが生まれたように、ルネサンス、マニエリスムからバロックへ向かう流れをごく自然に導いた環境とそこで活躍した画家たちがいたのです。それがパルマでした。本展にはこれまで日本でまったく紹介されたことのない画家たちの作品が数多く含まれています。しかしいずれも強烈な個性を発揮している画家の貴重な作品ばかりです。そこにはパルマ国立美術館やイタリア各地の美術館の所蔵品に加え、パルマの重要な聖堂の主祭壇画や周辺地域の聖堂に保存されている作品も含まれています。

西洋美術館の担当者として、またひとりのイタリア美術史家として、この展覧会実現に向けて惜しみない協力を捧げてくれたイタリアの友人たちに心から感謝するとともに、そうしたすばらしい友人に恵まれたことを誇りに思います。

(主任研究員 高梨 光正)



アゴ스티ーノ・カラッチ  
《聖母子と聖マルガリタ、  
聖ベネディクトゥス(?)、聖チエチリア》  
152×127cm パルマ国立美術館

バルトロメオ・ステドーニ  
《慈愛》 140×98cm  
パルマ国立美術館



- ◆「パルマ-イタリア美術、もう一つの都」観覧料
- |       |                |
|-------|----------------|
| 一般    | 1,400円(1,000円) |
| 大学生   | 1,100円(800円)   |
| 高校生   | 700円(400円)     |
| 中学生以下 | 無料             |
- ※( )内は20名以上の団体割引料金

## Fun with Collection 2007年7月～8月 見る楽しみ・知る喜び—美術史・市場・修復編

the national museum of western art, tokyo

美術作品を見る楽しみの一つは、その自由さにあります。科学の数式を解くように、誰もが同じ答えになる必要はありません。昨年のファン・ウィズ・コレクションでは、そうした個人の豊かな感性や想像力を使って自由に作品を見たり、楽しんだりすることをテーマにしました。

しかし、美術作品を自由に楽しみながらも、描かれている物や描き方、それを描いた画家、あるいはその絵の値段などについて、ふと疑問に思ったり、知りたいと思うことはありませんか。今年は、作品に関するそうした多様な知識や情報を知って作品を見ることをテーマとします。そこで今回は「美術史」、「美術の市場」、「作品の保存修復」の分野を取り上げて様々なプログラムを用意します。

人類の長い歴史の中で、美術がどのように展開してきたかを研究する美術史は、作品をより深く理解し、楽しむための豊富な視点を提供してくれる分野です。時代とともに変化してきた美術史研究の多様な視点を紹介します。作家の手を離れた作品は、どのようにして個人の手に、あるいは美術館に収蔵されるのでしょうか。工業製品と異なり、定価のない美術作品の値段が決定される市場の構造やオークションという作品売買の仕組みを知るとともに、作品に魅せられ、好きな作品を蒐集する個人コレクターの醍醐味も紹介します。また、長い年月の後に痛んだ作品を修復する技術は、近年科学的な調査研究によってさらなる進歩をとげつつあります。作品に表現されたものではなく、物質としての作品に保存修復の視点から迫ります。

視点を変え、様々な知識を得ることで、同じ作品でも新たな発見があるかもしれません。プログラムへの参加をお待ちしています。(プログラム詳細はFun with Collection見る楽しみ・知る喜び—美術史・市場・修復編のチラシをご参照ください。)

(主任研究員 寺島 洋子)



クロード・モネ  
《陽を浴びるポプラ並木》  
1891年 油彩・カンヴァス  
93×73.5cm  
松方コレクション



「祈りの中世 – ロマネスク美術写真展」

会期： 2007年6月12日(火)～8月26日(日)

the national museum of western art, tokyo



《ユダの裏切り》サン・マルタン教会、ノアン・ヴィック  
Photo©Tomohiro Muda

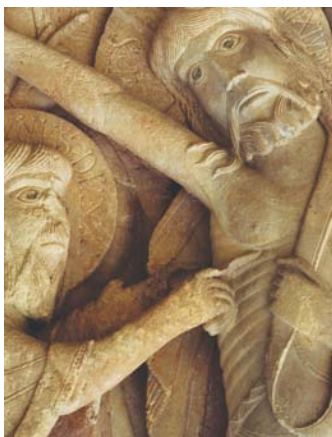
ロマネスク美術とは、主として11世紀から12世紀にかけてヨーロッパで生まれた美術のことを指します。この時期は多民族の侵入などによる中世初期の混乱が落ち着き、社会が安定していくなかで、地域交流の活発化や技術革新、多くの宗教運動が起こり、新たなダイナミズムをもってヨーロッパの土台が築かれていった時代でした。「ローマ風の」という意味の「ロマネスク」は、そもそも建築において、古代ローマ建築の劣った模倣を意味するものとしてやや軽蔑的に用いられた形容詞でしたが、現在その美術はヨーロッパ形成期のさまざまな文化を表わすものとして尊ばれ、高い精神性としばしば奇想に満ちた表現力によって人々に愛されています。

ロマネスク美術はそのほとんどが、キリストの教えを示す、あるいはそれを賛美するために制作され、人里離れた修道院や小さな村の聖堂にいたるまで、聖書の物語や教義、動植物や幾何学文様などを取り混ぜた豊かな図像が展開されました。それらの彫刻や絵画は、一見ほほえましく稚拙な美術にも思われますが、各地の文化の多様

性、人々のイマジネーションの豊かさ、そして深い宗教精神を伝えています。この展覧会では、フランスとスペインの五つの宗教建築を六田知弘氏が撮影した写真によって、こうしたロマネスク美術の多彩なかたちを紹介します。

(主任研究員 佐藤 直樹)

《トマスの不信》  
サント・ドミンゴ・デ・シロス修道院、シロス  
Photo©Tomohiro Muda



◆常設展観覧料

一般	420円 (210円)
大学生	130円 (70円)
高校生	70円 (40円)
中学生以下	無料

※ ( )内は20名以上の団体割引料金

「パルマ-イタリア美術、もう一つの都」展に関連して下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

## ◆記念講演会

- ① 6月16日(土) 14:00~15:30 6月2日締切  
 「コレッジョの世界 — 優美の規範」  
 甲斐 教行(茨城大学准教授)
- ② 7月14日(土) 14:00~15:30 6月30日締切  
 「ルネサンスの危機とパルミジャーノの芸術」  
 若桑 みどり(千葉大学名誉教授)
- ③ 7月28日(土) 14:00~15:30 7月14日締切  
 「ローマのランフランコ コレッジョの遺産と法悦のヴィジョン」  
 新保 淳乃(千葉大学非常勤講師)
- ④ 8月18日(土) 14:00~15:30 8月4日締切  
 「パルマの美術品を巡る過酷な運命」  
 高梨 光正(国立西洋美術館主任研究員)

会場	国立西洋美術館講堂
定員	各回145名(聴講無料。ただし、展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。)
応募方法	往復はがきに、氏名(1枚につき1名様限り)、住所(返信にも)、電話番号、希望日(1枚につき1講演のみ)をご記入の上、下記の宛先までお申し込みください(締切日の消印有効)。 * 応募者多数の場合は抽選になります。
宛先	〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館「パルマ展」講演会係

## ◆スライドトーク

当展覧会の見どころやおもな作品について、夜間開館を行っている下記の金曜日に講堂でスライドを使って解説を行います。

日時	6月15日(金)、6月22日(金)、7月6日(金)、7月20日(金)、 8月3日(金)、8月17日(金)
解説	深田 麻里亜(東京藝術大学大学院)
会場	国立西洋美術館講堂
定員	先着145名(展覧会観覧券が必要です) * 直接講堂にお越しください。

## ◆レクチャーコンサート

日時:6月30日(土) 18:00~20:00 (17:30開場)

「音楽の都パルマ -メルロとヴェルディー-」

- 企画・トーク: 瀧井敬子(東京藝術大学演奏芸術センター)  
 演奏: 脇田英里子(オルガン) / 高橋明日香(リコーダー)  
 コロ・リベラ・ストラダ(合唱) / 辻 博之(合唱指揮)
- 場所: 企画展会場ロビー(地下2階)  
 定員: 100席(全席自由)  
 料 金: 1,500円(税込)
- ※通信販売、当館以外での販売は行っていません。  
 ※電話等による事前予約は行っていません。  
 ※展覧会の鑑賞については、別途観覧券(未使用)が必要です。  
 \*詳細については、当館ホームページにてご案内しております。

# 展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2007年5月～2007年10月

## 常設展示 (本館・新館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画を本館で展示しています。新館では、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画を中心に19世紀半ばから20世紀の絵画を展示しています。

■ 休館日  
 □ 土・祝日

**5 MAY**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● イタリア・ルネサンスの版画—チューリヒ工科大学版画素描館の所蔵作品による (企画展示室) 最終日 5月6日(日)

● 平成14—18年度新収蔵版画作品展 (新館2F版画素描室) 3月6日(火)～6月3日(日)

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 5月29日(火)～8月26日(日)

**6 JUNE**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 5月29日(火)～8月26日(日)

● 平成14—18年度新収蔵版画作品展 (新館2F版画素描室) 最終日 6月3日(日)

● 祈りの中世—ロマネスク美術写真展 (新館2F版画素描室) 6月12日(火)～8月26日(日)

**7 JULY**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 5月29日(火)～8月26日(日)

● 祈りの中世—ロマネスク美術写真展 (新館2F版画素描室) 6月12日(火)～8月26日(日)

● Fun with Collection 2007 見る楽しみ・知る喜び—美術史・市場・修復編 (常設展示室) 7月～8月

**8 AUGUST**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 最終日 8月26日(日)

● 祈りの中世—ロマネスク美術写真展 (新館2F版画素描室) 最終日 8月26日(日)

● Fun with Collection 2007 見る楽しみ・知る喜び—美術史・市場・修復編 (常設展示室) 7月～8月

**9 SEPTEMBER**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● 設備改修工事のため全館休館 9月3日(月)～9月13日(木) (予定)

**10 OCTOBER**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● ムンク展 (企画展示室) 10月6日(土)～2008年1月6日(日)

● 臨時休館 10月5日(金)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

## 国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間  
 通常…午前9時30分～午後5時30分 (ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中=午前9時30分～午後5時)  
 毎週金曜日…午前9時30分～午後8時 (入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日 (ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日) 年末年始 (12月28日～翌年1月1日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、昭和の日 (4月29日)、文化の日 (11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600  
<http://www.nmwa.go.jp/>

※ 誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第31号

編集・発行 国立西洋美術館/平成19年5月20日(年4回発行)  
 協力(財) 西洋美術振興財団  
 印刷 (株) アイネット